

## あしよろ・ハードサポート通信

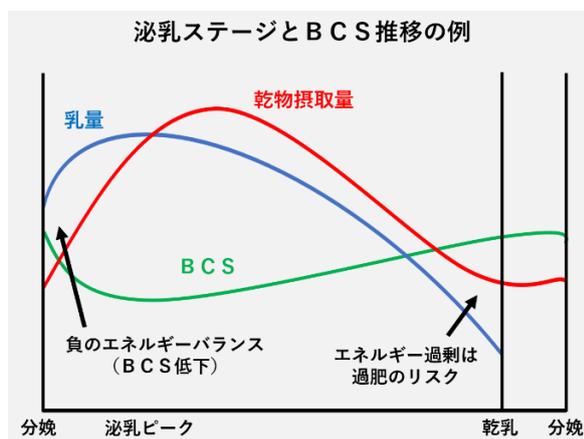
足寄の皆様、こんにちは。ハードサポート株式会社の市川雷太です。

まだ朝晩は厳しい冷え込みが続いていますが、寒さに強い牛も寒冷ストレスを受け、体の維持へのエネルギー消費が多いと考えられます。エネルギー摂取と消費のバランスによって、牛は痩せたり太ったりします。牛の体脂肪蓄積の状況进行评估する方法としてはボディコンディションスコア（BCS）があり、牛のエネルギーバランスの状態を反映している有効な判断指標です。

### ◆ 痩せすぎと太りすぎはNG

分娩直後の牛は負のエネルギーバランスになり、BCSが低下する傾向にあります。過度に低いボディコンディションでは空胎日数の延長、乳生産量の低下などが起こりやすくなります。

また泌乳中後期でエネルギー過剰になると牛は過肥になり、次回分娩の際に急激に体脂肪が動員されてケトosisなど周産期疾病のリスクが高まります。

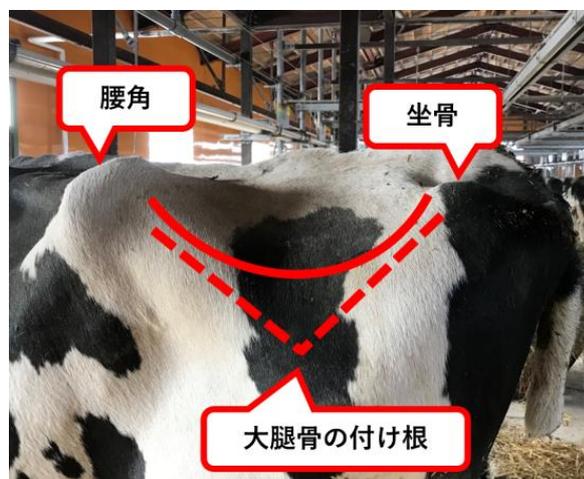


現状の牛群が痩せすぎでないか、太りすぎでないかを認識することは、酪農場における今後の生産性にとって大切なことです。

### ◆ BCS、どうやって見る？

一般的にBCSは1から5の数字で0.25区切りに示されます。数字が大きくなるにつれて、牛は体脂肪を蓄積して太っていきます。

BCSを確認するには、右図のように牛を横から見ます。腰角から坐骨を結ぶ線が、大腿骨の付け根を頂点に、UとVのどちらに見えるかをチェックします。Uに見えると3.25以上、Vに見えると3.0以下のBCSです。



UかVかをチェックした後は、牛を後ろから見ます。BCSを確認するために観察する重要なポイントとして、腰角と坐骨、尾骨靭帯があります。

牛が痩せていると腰角と坐骨は角張り、太っていると丸みをおびて骨の形が見えにくくなります。

尻尾の根元の尾骨靭帯は、牛が痩せているとはっきり確認できますが、太っていくと段々脂肪に埋もれていきます。



### ◆ BCSごとの比較

下図のように、BCSが増加するにつれて骨の形が見えにくくなり、牛のお尻に脂肪が乗っていくのがわかります。体重600kgの牛の場合、BCSが3.0から3.5に変化すると体重は約40kg増加するとされ、劇的な変化が起こっています。



最近では、以前と比較して牛のボディコンディションの変化をより最小限にする飼養管理が推奨されており、BCSは泌乳期から乾乳期までを通して2.75から3.25の間で推移する事が望ましいとされています。

ボディコンディションを適切にコントロールするためには、牛群のBCSモニタリングを行い、状況に応じて飼料給与内容を調整する事がとても重要です。繁殖成績の悪化や分娩後のトラブルを防止して牛の健康状態を良好に保つために、酪農家さん自身でも牛群のBCSを意識し、観察する事が大切です。  
(市川雷太)

・搾乳勉強会は、3/13(火)13時から JA あしよろ 2階会議室で開催します。講師は 営農部 佐藤裕也氏です。一般的な搾乳手順や町内での搾乳事情(アンケート結果)、搾乳中の動画などの内容で準備を進めています。ぜひご参加ください。